

2016年 夏(6月～8月)の天候経過

平成28年9月1日
新潟地方气象台

1. 北陸地方の今夏(6月～8月)の特徴

【暖かい空気に覆われやすく、また高気圧に覆われ晴れた日が多かった。高温、多照】
6月上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。6月中旬から7月中旬にかけては、梅雨前線が本州南岸から本州付近に停滞したため曇りや雨の日が多かった。7月下旬以降は日本海の高気圧や太平洋高気圧に覆われ晴れた日が多かった。
気温は、6月と7月は高く、8月平年並だった。3か月平均気温は高かった。
降水量は、6月、7月、8月はともに平年並だった。3か月合計の降水量も平年並だった。
日照時間は、6月と8月は多く、7月は平年並だった。3か月合計の日照時間は多かった。

2. 3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	6～8月	6月	7月	8月
平均気温平年差	+0.7	+1.0	+0.7	+0.4
階級	高い	高い	高い	平年並
降水量平年比	92%	77%	100%	98%
階級	平年並	平年並	平年並	平年並
日照時間平年比	114%	114%	108%	117%
階級	多い	多い	平年並	多い

(注) 北陸地方平均：北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したもの

3. 月別の天候経過

(6月)【梅雨前線は本州の南岸に停滞。高温・多照】

上旬は、移動性高気圧に覆われて晴れた日が多かった。中旬以降は梅雨前線が西日本から関東の南岸にかけて停滞することが多く、曇りや雨の日が多くなったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。

中旬は、北日本を低気圧が通過することが多く、南から暖かい空気が流れ込みやすかった影響で気温がかなり高くなり、月の気温も高くなった。

(7月)【前半は梅雨前線が本州付近に停滞。後半は晴れた日多いが一時低温の時期も。高温】

月の中頃にかけては、梅雨前線が本州付近に停滞したため曇りや雨の日が多かった。2日～3日と6日は梅雨前線上に発生した低気圧が発達しながら日本海を進んだため、大雨となった所があった。2日は南から暖かい空気が流れ込んだため所々で猛暑日となった。その後は下旬の中頃にかけて北に偏った高気圧に覆われ概ね晴れたが、25日～27日は気圧の谷の影響で雨が降り大雨となった所もあった。26日は高田特別地域観測所で7月の月最大24時間降水量の極値を観測した。下旬の終りは太平洋高気圧に覆われて概ね晴れたが、南からの湿った空気の影響で山沿いを中心に大雨となった所もあった。

月の後半に一時的に北に偏った高気圧の影響で低温の時期もあったが、上旬は南から暖かい空気が流れ込んだ影響で気温が高く、月の気温も高くなった。

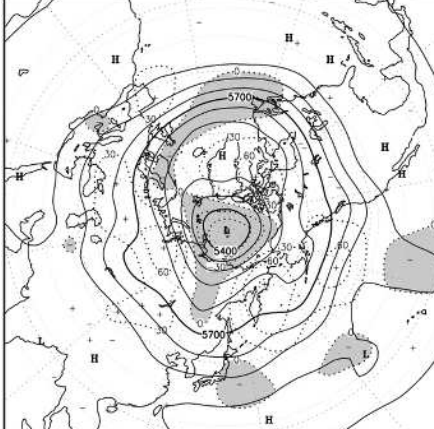
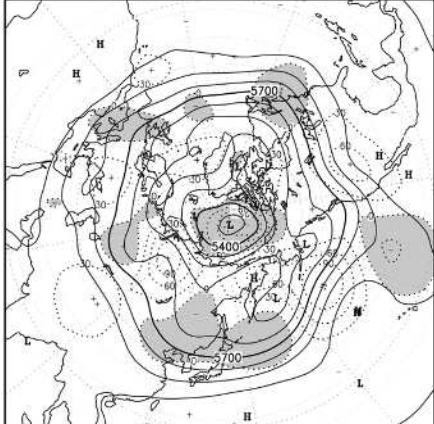
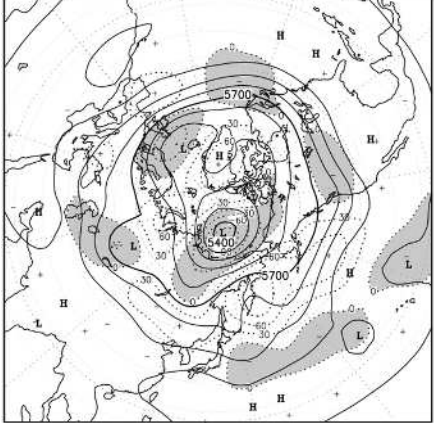
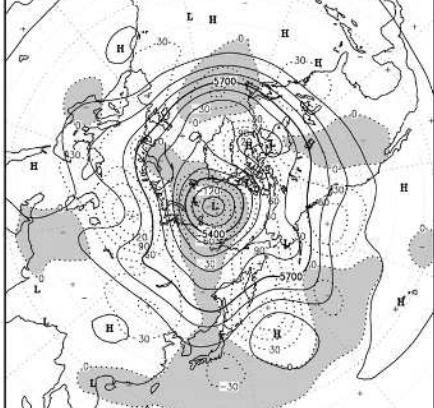
(8月)【日本海の高気圧や太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多い。多照】

日本海の高気圧や太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、下旬の後半は高気圧の日本付近への張り出しが弱まって曇りや雨の日が多くなった。上旬のはじめや中旬の後半には気圧の谷や湿った空気などの影響で大気の状態が不安定となり、大雨となった所があった。22日～23日は、台風第9号が関東地方に上陸して北日本に北上した影響で雨が降り、新潟県や富山県では大雨となった所があった。26日は日本海から停滞前線が南下して雨が降り、大雨となった所があった。29日～30日は台風第10号からの湿った空気と寒気を伴った気圧の谷の影響で雨が降り、大雨となった所があった。

(注) ある期間に観測された値の最大値(最高値)または最小値(最低値)を「極値」という。

4. 大気の流れから見た今夏の特徴 (500 hPa 天気図)

等高線 (実線) の間隔は 60 m、ハッチ域 (陰影部) は平年より高度が低い部分 (負偏差域)、白抜き域は平年より高度が高い部分 (正偏差域) にそれぞれ対応している。

	<p>6 ~ 8 月</p> <p>日本の西では高度が高く、西日本や沖縄・奄美では、上空が気圧の尾根となりやすく暖かい空気に覆われた。日本の南東海上では日本の南海上は対流活動が活発で、湿った気流が北日本から東日本太平洋側に流れ込みやすい時期があった。</p>
	<p>6 月</p> <p>日本の南では高度が高く、太平洋高気圧は日本の南から沖縄付近への張り出しが強かった。一方、中国東北区から北日本では高度が低く、北日本では気圧の谷や低気圧の影響を受けやすかった。また、本州南岸では南北の高度差が大きく、梅雨前線が停滞することが多かった。</p>
	<p>7 月</p> <p>日本の南では高度が高く、亜熱帯高気圧は強かった。また、カムチャツカ半島付近を中心に日本の北でも高度が高かった一方、日本の東では負偏差が広がった。このため、沖縄・奄美地方を中心に暖かい空気に覆われやすかった一方、北・東日本太平洋側を中心に寒気の影響を受ける時期があった。</p>
	<p>8 月</p> <p>中国東北区から朝鮮半島付近と日本のはるか東では高度が高く、高気圧の勢力が強まりやすかった。一方、日本の南海上は高度が低く対流活動が活発で、湿った気流が東日本太平洋側から北日本を中心に流れ込みやすい時期があった。</p>

5 . 参考資料

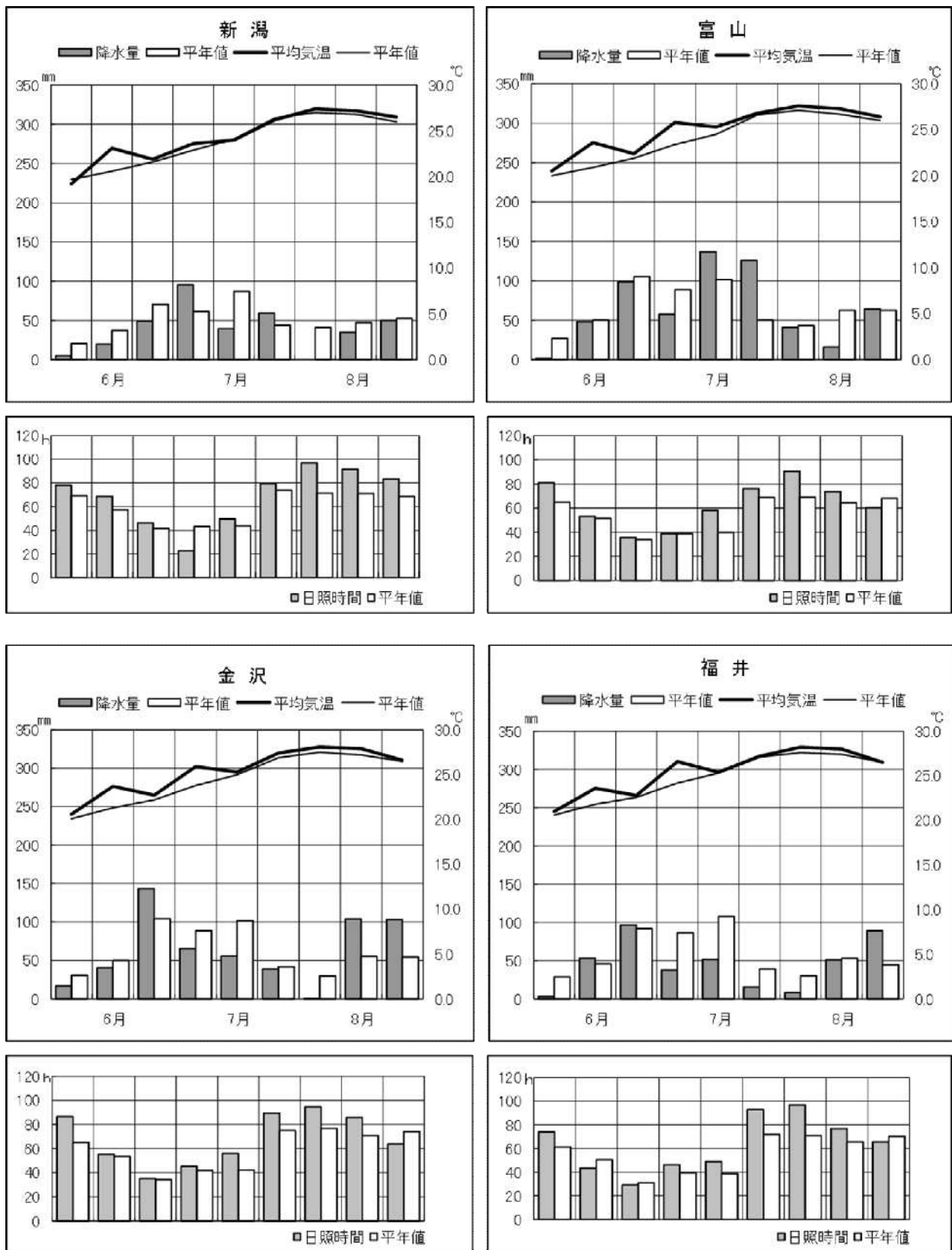


図1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における6～8月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	6月		7月		8月		3か月平均	
	実況値	平年差 (階級)	実況値	平年差 (階級)	実況値	平年差 (階級)	実況値	平年差 (階級)
新潟	21.4	+0.7 (+)	24.6	+0.1 (0)	27.0	+0.4 (0)	24.3	+0.4 (0)
高田	21.6	+1.0 (+)	25.1	+0.5 (0)	26.5	+0.2 (0)	24.4	+0.6 (+)
相川	20.5	+1.0 (+*)	24.0	+0.4 (0)	26.3	+0.3 (0)	23.6	+0.6 (+)
富山	22.2	+1.3 (+*)	26.0	+1.1 (+)	27.1	+0.5 (+)	25.1	+1.0 (+)
伏木	21.5	+1.0 (+)	25.5	+0.9 (+)	27.1	+0.6 (0)	24.7	+0.8 (+)
金沢	22.4	+1.2 (+)	26.2	+0.9 (+)	27.5	+0.5 (0)	25.4	+0.9 (+)
輪島	21.0	+1.4 (+*)	24.7	+0.8 (+)	25.9	+0.2 (0)	23.9	+0.8 (+)
福井	22.4	+0.8 (+)	26.4	+0.8 (+)	27.5	+0.3 (0)	25.4	+0.6 (+)
敦賀	22.6	+0.9 (+)	26.4	+0.6 (+)	28.0	+0.6 (+)	25.7	+0.7 (+)
北陸平均		+1.0 (+)		+0.7 (+)		+0.4 (0)		+0.7 (+)

降水量	6月		7月		8月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)
新潟	73.5	57 (-)	194.5	101 (0)	85.0	60 (0)	353.0	77 (-)
高田	102.0	70 (-)	405.5	193 (+)	201.0	134 (+)	708.5	140 (+)
相川	79.0	61 (-)	194.5	113 (0)	120.5	96 (0)	394.0	92 (0)
富山	148.0	81 (0)	320.5	133 (+)	121.5	72 (-)	590.0	100 (0)
伏木	137.0	81 (0)	169.5	73 (0)	92.0	59 (-)	398.5	72 (-)
金沢	200.0	108 (0)	160.0	69 (0)	207.5	149 (+)	567.5	102 (0)
輪島	107.5	66 (-)	176.0	87 (0)	145.0	93 (0)	428.5	82 (-)
福井	152.5	92 (0)	104.5	45 (-)	148.0	116 (0)	405.0	77 (-)
敦賀	132.0	80 (-)	163.5	84 (0)	126.0	100 (0)	421.5	87 (0)
北陸平均		77 (0)		100 (0)		98 (0)		92 (0)

日照時間	6月		7月		8月		3か月合計	
	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)
新潟	193.2	115 (+)	152.0	95 (0)	271.9	129 (+)	617.1	114 (+)
高田	169.2	112 (+)	135.5	88 (-)	228.7	117 (+)	533.4	107 (0)
相川	200.6	117 (+)	144.3	88 (0)	271.0	126 (+)	615.9	112 (+)
富山	169.3	113 (+)	172.8	117 (0)	224.6	112 (+)	566.7	114 (+)
伏木	178.6	118 (+)	178.5	117 (+)	230.4	112 (+)	587.5	115 (+)
金沢	176.9	116 (+)	190.7	120 (0)	244.1	110 (0)	611.7	115 (+)
輪島	191.3	122 (+)	145.4	93 (0)	252.3	122 (+)	589.0	113 (+)
福井	146.7	103 (0)	187.9	125 (+)	239.3	116 (+)	573.9	115 (+)
敦賀	154.5	113 (+)	193.5	132 (+)	224.0	111 (0)	572.0	118 (+)
北陸平均		114 (+)		108 (0)		117 (+)		114 (+)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い (少ない) , (0) : 平年並 , (+) : 高い (多い)

(-*) : かなり低い (かなり少ない) , (+*) : かなり高い (かなり多い)

注3) 値の横に) や] がある場合には、使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数 (統計に用いた品質が十分な日数) を气象台等に確認して、品質を確かめてください。

表2 北陸地方における6～8月の階級別日数

	6月			7月			8月		
	最高気温		最低気温	最高気温		最低気温	最高気温		最低気温
官署	30 以上	35 以上	25 以上	30 以上	35 以上	25 以上	30 以上	35 以上	25 以上
新潟	2(1.3)	0(0.0)	0(0.0)	7(9.8)	0(0.8)	2(2.6)	18(18.1)	2(2.1)	5(7.8)
高田	3(2.0)	0(0.0)	0(0.0)	10(13.2)	1(1.1)	0(0.8)	21(20.9)	3(2.9)	0(2.4)
相川	0(0.2)	0(0.0)	0(0.0)	5(5.3)	0(0.3)	1(1.6)	15(12.8)	1(0.6)	5(5.6)
富山	2(2.4)	0(0.1)	0(0.0)	19(12.9)	2(1.6)	1(1.5)	26(19.0)	2(3.5)	8(4.4)
伏木	2(1.9)	0(0.1)	0(0.0)	14(11.4)	1(1.4)	3(1.9)	26(17.9)	1(2.6)	11(5.8)
金沢	3(1.6)	0(0.0)	0(0.0)	15(13.0)	1(0.7)	6(4.1)	27(20.5)	0(1.4)	16(8.8)
輪島	1(0.8)	0(0.0)	0(0.0)	11(8.3)	0(0.4)	0(0.6)	23(15.5)	1(0.7)	2(1.7)
福井	4(3.5)	0(0.0)	0(0.0)	19(15.3)	2(1.4)	3(3.1)	28(23.0)	3(3.8)	10(6.0)
敦賀	2(2.7)	0(0.0)	0(0.1)	21(14.2)	0(1.1)	7(6.3)	27(22.2)	5(2.5)	15(12.6)

注1) 真夏日：日最高気温が30 以上の日 猛暑日：日最高気温が35 以上の日

注2) いわゆる「熱帯夜」とは夜間の最低気温が25 以上の日を指すので、ここに示した日数と異なることもある。
一般的な意味での熱帯夜日数の統計はない。

注3) カッコ()内は平年値

表3 北陸地方における6～8月(今夏)の最高気温

官署	最高気温	起日	順位	これまでの最高	統計開始年月
新潟	35.9	8/20	更新なし	39.1(1909/ 8/ 6)	1886/01
高田	36.1	8/29	更新なし	39.5(1994/ 8/12)	1922/01
相川	35.9	8/20	更新なし	37.0(1978/ 8/ 3)	1911/04
富山	36.1	7/02	更新なし	39.5(1994/ 8/14)	1939/01
伏木	37.0	7/02	更新なし	39.7(1994/ 8/14)	1883/12
金沢	37.0	7/02	更新なし	38.5(1902/ 9/ 8)	1882/01
輪島	35.2	8/25	更新なし	38.2(2000/ 7/31)	1929/05
福井	36.2	8/07	更新なし	38.5(1922/ 8/20)	1897/01
敦賀	35.6	8/07	更新なし	37.6(1918/ 8/13)	1897/10

注1) 順位の統計は第5位まで

表4 北陸地方における6～8月の累年極値・順位(3位以内)更新

月平均気温の高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値	平年差	これまでの最高(西暦年)	開始年	平年値
6	3	輪島	21.0 =	+1.4	21.7(1979)	1929	19.6

注1) =タイ記録を示す

6. 天候情報発表状況

なし

(注) この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。
なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。